第６学年１組　社会科学習指導案

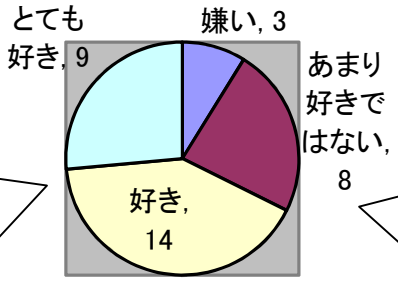
日　時　平成２５年１１月２２日（金）
在籍児童数　男子１７名　女子１７名　計３４名
指 導 者　　教 諭　　神 田 美 佐 子

１　単元名　わたしたちの生活と政治「わたしたちの願いを実現する政治」

２　小単元について
（１）　児童観
本小単元を実践するにあたり、児童にアンケートを実施した。結果は次の通りである。
【実施日】平成２５年１０月１７日（木）
【人　数】第６学年１組３４名
【結果】

Ｑ１.社会科の授業や勉強は好きですか。※理由は複数回答可。

【「好き」の理由】
・歴史の学習がおもしろいから（１１名）
・歴史の学習が好きだから（５名）
・歴史上の人物や出来事のことをもっと詳しく知りたいから（５名）
・地図帳を見るのが好きだから（２名）
・政治に興味があるから（１名）
・その他（２名）



【「嫌い」の理由】
・歴史上の人物がたくさん出てきて、わからなくなってしまうから（７名）
・学習内容やテストが難しいから（４名）

Ｑ２．現在の内閣総理大臣の名前を書きましょう。
正答（安倍晋三、安倍総理、安倍さん等）　２８名
誤答（野田総理等）・無回答　７名

Ｑ３．現在の久喜市長の名前を書きましょう。
正答（田中喧二、田中市長等）　７名
誤答・無回答　２８名

Ｑ４．広報「くき」や「議会だより」、久喜市のＨＰを読んだり見たりしたことがありますか。
ある　７名　→　「ある」人は、どんな記事を読んだことがありますか。
ない　３４名　　久喜市からのお知らせ、図書館の開館時間、市内の学校紹介等

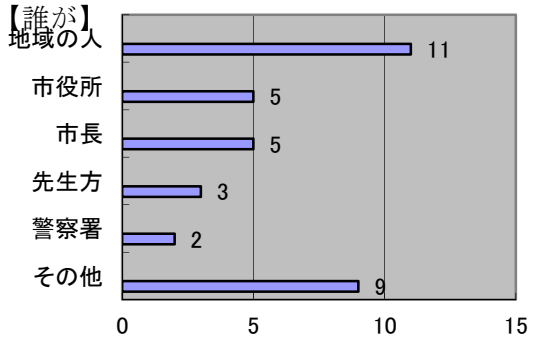
Ｑ５．新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等で、ニュースを読んだり見たりしますか。
毎日見る　２４名　たまに見る　１１名　あまり見ない　１名　全然見ない　１名

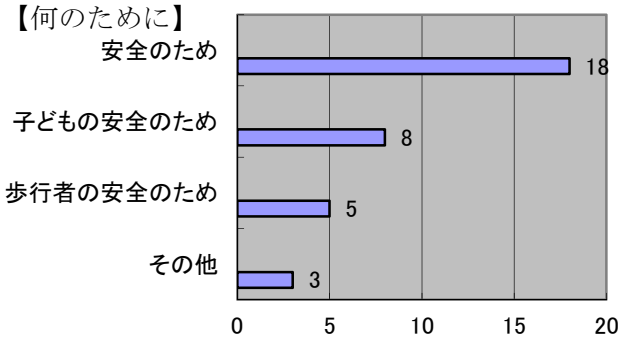
Ｑ６．最近のニュースの中で、印象に残っているのもは何ですか。※複数回答可。
台風２６号　２３名　東京でオリンピック開催決定　４名　消費税８％へ　２名
【その他】アベノミクス、地震・竜巻等の自然災害、放火・殺人・誘拐等の事件、有名人の死去、スポーツ選手の活躍、いじめ自殺　等

Ｑ７．桜田小学校の近くにできたグリーンベルトを見たり、通ったりしたことがありますか。

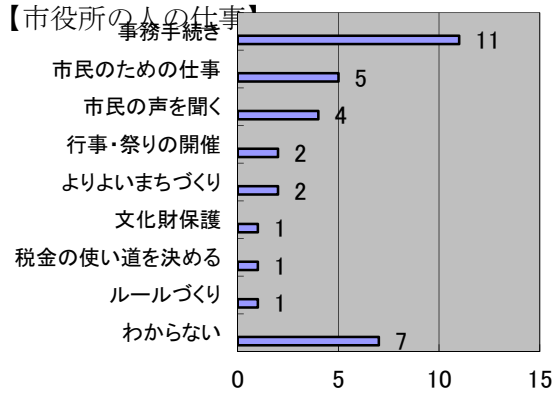
ある　２３名　　ない　　９名

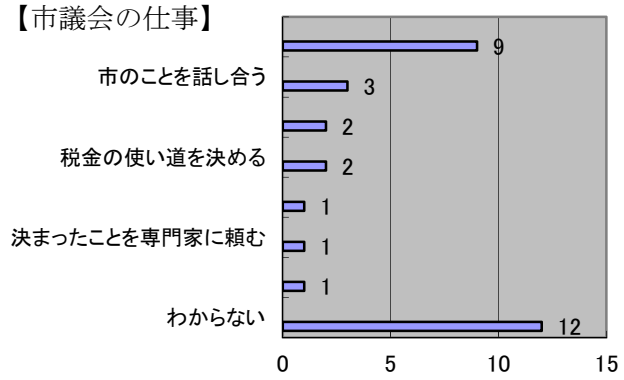
Ｑ８．グリーンベルトは、誰が何のためにつくったと思いますか。





Ｑ９．久喜市役所や久喜市議会の人たちは、どんな仕事をしていると思いますか。※複数回答可。





①社会的事象に対する興味・関心を高める工夫について

本学級の児童は、社会的事象に対する関心が高く、社会科の授業や学習に意欲的に取り組んでいる。朝の会での１分間スピーチでは、最近のニュースから印象に残った話題を取り上げ、自分の考えを話している。自主学習では、世界の国旗を調べたり、歴史の授業で疑問に思ったことを詳しく調べたりと、社会科の学習に興味をもち、進んで学習している児童も多い。

社会科の授業では、毎時間プロジェクターを使って資料を提示する等、関心をもって学習できるよう工夫してきた。また、社会科の授業以外でも、地名が出てきたら地図帳で調べたり、修学旅行に向けて鎌倉と埼玉とのつながりを調べたりと、社会的事象に関心をもてるよう工夫してきた。さらに、社会科の授業で歴史上の出来事に興味をもった児童に、「自主学習で詳しく調べてみたら？」と勧め、調べたことを発表してもらうなど、児童の自主的な取り組みについても推奨してきた。

実態調査の結果から、本学級の児童は、市の働きについて、転出入の手続き等で市役所を訪れた経験から、「市民のための仕事や各種手続きに関する仕事をしている」ととらえている。市議会の働きについては、「どんな仕事をしているのかわからない、予想すらできない」とする児童が学級の３分の１いた。これらの結果から、児童にとって、市役所や市長、市議会はあまり身近ではなく、具体的にイメージするのが難しいことがわかった。

そこで、児童が興味・関心をもって学習に取り組み、政治を身近に感じることができるよう、今年度桜田小学校の前に設置されたグリーンベルトの教材化を図った。グリーンベルトが市民の願いをもとに設置されたことを、地域住民や市役所職員の話から具体的に理解し、わたしたちの生活と政治を結びつけて考えることができるようにしていきたい。

②思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫について

本学級の児童は、全国学力・学習状況調査やこれまでの単元別テストの達成率などから、どの教科においても、基礎的・基本的な知識・技能は習得しているものの、思考力・判断力・表現力に課題があることがわかる。１学期には、指名されても何も言ない児童がいたり、ノートに自分の考えが書けない児童がいたりという場面があり、思考力・判断力・表現力をどのように伸ばしていくかが大きな課題と感じていた。そこで、授業では、自分の考えをノートに書いたり、ペアやグループでの学び合いを積極的に取り入れたりしてきた。まずは自分の意見をもつこと、そして自分の考えに自信をもって発表できるようにし、よい発表にはどこがよいのか具体的に評価するよう継続して指導してきた。さらに、学級経営においては、一人一人を尊重するようにしてきた。これらの活動を通して、どの児童も自分の考えを発表できるようになってきている。

本小単元の学習では、グリーンベルトについて、グループごとに調べたことをまとめ、発表する。その際、グループ内での学び合いを重視するとともに、一人一人が思考を深めることができるよう配慮していきたい。また、各グループの発表をもとに、学級全体で、グリーンベルトは政治の働きによってどのように実現されたのか、話し合い、関係図にまとめていく。その際、児童の気づきを大切にし、児童の言葉でまとめていけるようにしたい。

（２） 教材観

本小単元は、学習指導要領の次のことを受けて構成したものである。

第６学年の内容（２）我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

本小単元は、中学校学習指導要領社会編、公民的分野の「２内容（３）私たちと政治　イ民主政治と政治参加」へとつながるものである。

小学校と中学校の社会科の目標を見ると、どちらも「国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とある。公民的資質とは、平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を互いに尊重し合うこと、社会的義務や責任を果たそうとすること、社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりすることなどの態度や能力であると考えられる。こうした公民的資質は、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎をも含むものであると考えられる。（小学校学習指導要領解説社会編P. 14参照）

また、学習指導要領の改訂にあたっては、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善が図られた。中学校においては、小学校社会科の学習を踏まえ、基礎的・基本的な知識、概念や技能を習得し、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方を養うことを一層重視して改善が図られた。（中学校学習指導要領解説社会編p. 4参照）

これらのことをふまえ、本小単元の展開にあたっては、中学校社会科との系統性を意識し、授業を行いたい。本小単元では、グリーンベルトは、政治の働きによってどのように実現されたのか、市民・市の働き・市議会・税金の４グループに分かれて調べ、それらを比較・関連・総合しながら、関係図にまとめていく。その際、社会的事象を多面的・多角的にとらえられるようにしていきたい。また、市や市議会の役割を学習することを通して、よりよい久喜市にするために、政治が行われていることをとらえさせる。その際、政治には市民の願いが反映されていることや、公共的な事業には市民の税金が使われていることを十分に理解させることを通して、よりよい社会の形成に参画する意識や意欲を高めていきたい。

知識の構造図

獲得させたい概念

人々の願いを取り入れながら、地方公共団体や国の政治が進められており、それらは、国民生活の安定と向上を図るために、重要な働きをしている。

考えさせたい概念

- 市の政治は、市民の願いを実現させていて、わたしたちの生活と密接な関係をもっている。
- 国の政治は、国民生活の安定と向上を図るために国民の代表によって行われている。
- まちづくりには、人々の願いが生かされており、今後も意見や願いを伝えていくことが大切である。

調べさせたい事実

- 市民は誰もが、安心して生活することができる仕組みがほしいという願いをもっている。①
- グリーンベルトは、市民の願いをもとに導入された。②～⑤
- 市役所や市議会は、市民の願いを実現するために、話し合って仕事を進めている。②～⑤
- 人々の願いを実現する仕事を進めるために、税金が重要な働きをしている。②～⑤
- 国会には衆議院と参議院があり、国民の代表である国会議員は選挙によって選ばれ、国の政治について話し合っている。⑥
- 国民の祝日には、それぞれの意味や由来がある。⑥
- 内閣は、総理大臣が中心となって、国民全体のためのいろいろな仕事をしている。⑦
- 裁判所は、法律に基づいて、いろいろな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしている。⑧
- 市では、すべての人が地域の中で安心して生活できる社会を目指して、さまざまな福祉事業がなされている。⑨
- まちづくりでは、利用者や住民の立場になって願いを考え、積極的に市に伝えていくことが必要である。⑨

おさえたい用語・語句

- 市民
- グリーンベルト　市民の願い
- 市役所　市議会、計画案と予算案
- 税金　公共的な事業
- 国会（立法）　国会議員　選挙　衆議院と参議院
- 国民の祝日
- 内閣（行政）　内閣総理大臣　国務大臣　省や庁
- 裁判所（司法）　法律　裁判員制度
- 福祉事業　介護　自立支援　就労支援
- 利用者　住民　願いを伝える

本小単元では、身近な具体的事例として、桜田小学校通学路のグリーンベルトを取り上げる。このグリーンベルトは、平成２５年にできた。

第１時には、実際にグリーンベルトを通って通学している児童から、グリーンベルト設置前には、「自動車がすぐ近くを通り過ぎていて危険だった」ことを話してもらう。桜田小学校の児童が安全に登下校できるよう、地域住民（市民）から声が上がり、グリーンベルトが設置されたことをつかませたい。わたしたちの生活には市の政治の働きが反映していることや、政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、具体的に理解できるようにしたい。第２・３時には、市民・市の働き・市議会・税金の４グループに分かれ、グリーンベルトは、政治の働きによって、どのように実現されたのか、調べる。その際、インターネット等では調べきれない内容や、もっと詳しく調べたいことをまとめておき、第４時でゲストティーチャーに質問できるよう準備しておく。第４時には、６名のゲストティーチャーの方に取材をする。ゲストティーチャーの方とは、事前に十分な打ち合わせをし、本小単元の目標からそれないように十分留意したい。ゲストティーチャーの話を聞く際には、一方的に聞くのではなく、児童からの質問に答えていただくインタビュー形式とすることで、言語活動の充実を図りたい。第５時には、それぞれのグループが調べたことを比較・関連・総合しながら、関係図にまとめていく。なお、グルーピングについては、市民グループは２０区在住の児童６名とし、他の３グループについては、生活班を基準に教師が意図的に組んだ。

第６～８時には、国の政治を学習する。市の政治の学習をもとに、具体的に理解させていきたい。第９時には、みんなの願いを生かした久喜市をつくるために、話し合いを行う。これまでの学習を生かし、社会に参画していく意欲を高めていきたい。

ゲストティーチャーの方にご協力いただく内容は、下記の通りである。

	ゲストティーチャー	グループ（児童数）	主な内容
1	２０区長　　Ｉ様	市民（６名）	市民の願いを市役所へ要望したこと ・「児童が安全に登下校できるようにしたい」という地域住民（本校の保護者も含む）から願いがあった。 ・数年間継続して、市役所市民課（市長あて）にグリーンベルト設置の要望書を提出した。
2	久喜市役所建設課　Ｆ様	市役所（１０名）	市（市長や市役所で働く人）の働き ・市は、市民の生活の安定と向上とため、さまざまな仕事をしている。グリーンベルト設置においては、建設課が仕事をした。 ・グリーンベルト設置の願いをうけ、予算案・計画案を作成し、市議会へ提出した。 ・市議会での賛成の議決をうけ、計画を実行した。
3	久喜市役所都市整備課　Ｎ様		
4	元鷲宮町議会議員　Ｈ様	市議会（９名）	市議会の働き ・市から提出された予算案や計画案について、話し合い、賛成・反対の議決をする。
5	元市役所職員 現総務省行政相談員　Ｔ様	税金（９名）	租税の役割 ・グリーンベルト設置には、建設のためのお金がかかる。そのため、税金が使われた。 ・市は、住民や会社などから税金を集め、公共的な事業を行う。
6	久喜市役所官財課　Ｋ様		

3　小単元の目標と評価規準

地方公共団体や国の政治の働きについて、インタビューをしたり各種資料を活用したりして調べ、わたしたちの生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることが分かり、政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、国民主権と関連付けて考える。

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、それらについて主体的に調べ、わたしたちの生活と地方公共団体や国の政治の働きとのかかわりを考えようとする。	地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題をつかんで追究し、政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、国民主権と関連づけて考え、言語などで適切に表現している。	地方公共団体や国の政治の働きについて、インタビューをしたり各種資料を活用したりして調べ、ワークシートなどにまとめている。	わたしたちの生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを理解している。

4　小単元の指導計画（９時間扱い）

	学習活動・学習内容	学習活動に即した評価規準 〈　〉評価方法
つかむ	①桜田小学校通学路のグリーンベルトについて知り、学習問題をつかむ。 ・グリーンベルトは、平成２５年に設置されたこと ・設置前は、危険があったこと ・設置後は、安全に登下校できるようになったこと ・地域住民（市民）の願いにもとづいて設置されたこと ・学習問題をつかむこと 学習問題　わたしたちの願いは、政治の働きによって、どのように実現されているのだろうか。	**関**　グリーンベルトは市民の願いにもとづいて実現されたことを知り、わたしたちの生活と政治とのかかわりを考えようとしている。 〈発言〉 **思**　学習問題をつかんでいる。 〈発言、ノート〉
調べる	②③④グループごとに、グリーンベルトは、政治の働きによって、どのように実現されたのか調べ、まとめる。 ※ゲストティーチャーに質問する前に、インターネットや教科書、資料集で調べ、質問したいことを考えておく。 【市民グループ】 ・グリーンベルトの設置は、「児童が安全に登下校できるようにしたい」という市民の願いにもとづいていること ・市長あてに請願書を提出したこと ※「市民」と「市の働き」との関わりに限定する。 【市の働きグループ】 ・市民の願いを実現する仕事を進めるために、市役所は予算案や計画案を作ること ・市役所は、市民の願いを実現するために、話し合いながら仕事を進めていること ※「市議会」を関連づける。 【市議会グループ】 ・市役所で予算案や計画案を提出したものを、市議会で話し合って決定していること ※「市役所」と関連づける。 【税金グループ】 ・市民の願いを実現する仕事を進めるために、税金が重要な働きをしていること	**関**　わたしたちの生活と地方公共団体とのかかわりを主体的に調べている。 〈態度、発言〉 **技**　地方公共団体の政治の働きについて、ホームページや広報誌等の資料を活用して調べ、ワークシートにまとめている。 〈発言、ワークシート〉

	⑤市民の願いが政治の働きによってどのように実現されたのか考える。（本時） ・調べたことを発表すること ・調べたことをもとに関係図にまとめること ・政治の働きについて考えること	**思**　地方公共団体の政治はわたしたちの生活の安定と向上を図るために、大きな働きをしていることについて考え、関係図に表現している。 〈発言、ワークシート〉
	学習問題の結論① ・　市は、わたしたちの願いを取り入れながら必要な手順を決定し、計画的に実行している。	
	⑥国会や選挙について調べ、国会のしくみや働き、選挙の役割について話し合う。 ・国会には衆議院と参議院があること ・国民の代表である国会議員は選挙によって選ばれ、国の政治について話し合っていること ・国会の働きの1つとして、国民の祝日が定められたこと ・それぞれの祝日には、意味や由来があること	**知**　国会は、国民の願いに基づいて国の政治について話し合っていること、国会議員は、選挙で選ばれていることを理解している。 〈発言、ノート〉 **技**　それぞれの祝日の意味や由来、それぞれの祝日が設けられた意義について調べている。 〈発言、ノート〉
	⑦内閣について調べ、内閣のしくみや働きついて話し合う。 ・内閣は、総理大臣が中心となっていること ・国民のためにいろいろな仕事をしていること	**知**　内閣は、総理大臣が中心となって、国の仕事を進めていることを理解している。 〈発言、ノート〉
	⑧裁判所について調べ、裁判所の働きついて話し合う。 ・裁判所は、法律に基づいていろいろな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていること。 ・国会、内閣、裁判所は、分担して国の仕事を進めていること ・三権分立について関係図にまとめること	**知**　裁判所は、法律に基づいて、さまざまな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解している。 〈発言、ノート〉 **思**　国の政治はわたしたちの生活の安定と向上を図るために、大きな働きをしていることについて考え、表現している。 〈発言、ノート〉
	学習問題の結論② ・　国会、内閣、裁判所は、分担して国の政治を進めている。	
生かす	⑨学習したことをもとに、みんなの願いを生かした久喜市をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 ・よいまちをつくるためには、いろいろな人の意見を生かしていくことが大切であること	**思**　政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、国民主権と関連づけて考え、表現している。 〈発言、ノート〉

5　本時の学習指導（５／９時）

（1）　目標

○地方公共団体の政治はわたしたちの生活の安定と向上を図るために、大きな働きをしていることについて考え、関係図に表現する。（社会的な思考・判断・表現）

（2）　展開

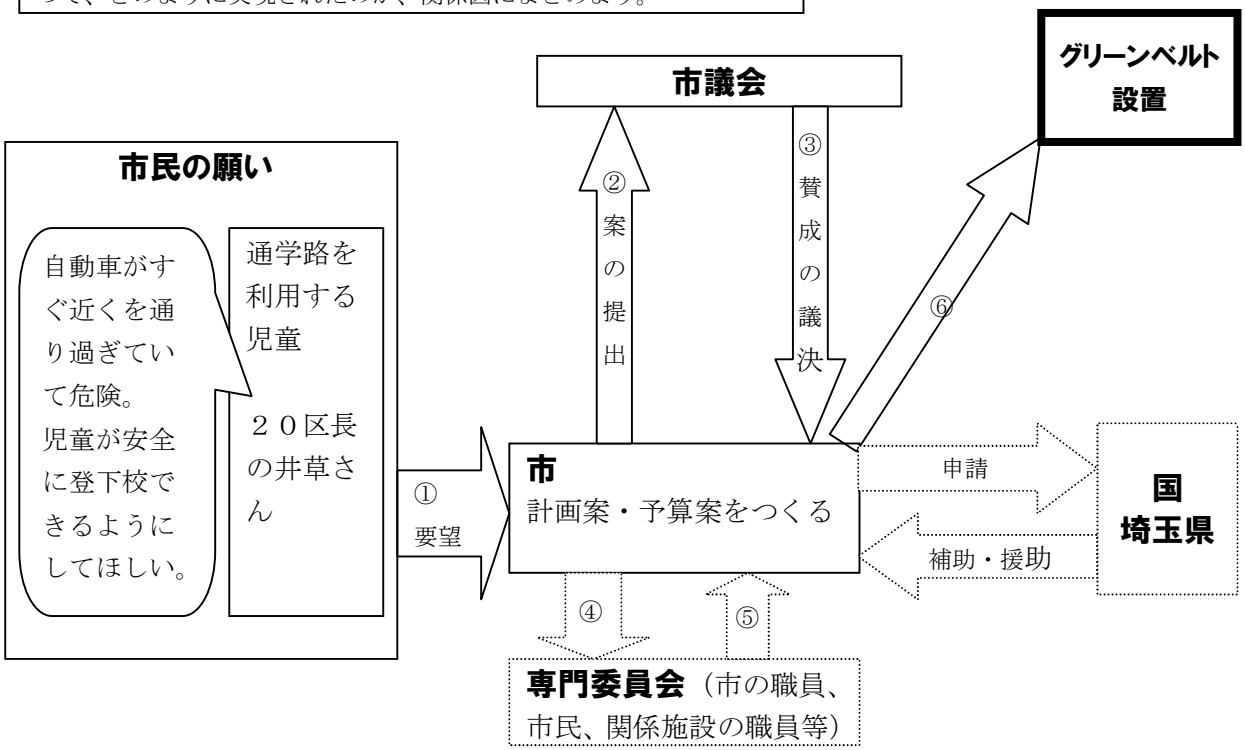
学習活動	学習内容	指導と評価の工夫	資料・準備	時間
1　本時のめあてを確認する。	桜田小学校通学路のグリーンベルトは、政治の働きによって、どのように実現されたのか、関係図にまとめよう。			1
2　グリーンベルトについて、これまでに調べたことを発表し、関係図にまとめる。	○市民の願い 【市民グループ】 ・グリーンベルトの設置は、「児童が安全に登下校できるようにしたい」という市民の願いにもとづいていること ○市役所の仕事 【市の働きグループ】 ・市民の願いを実現する仕事を進めるために、市役所は予算案や計画案を作ること ・市役所や市議会は、市民の願いを実現するために、話し合いながら仕事を進めていること ○市議会の仕事 【市議会グループ】 ・市役所で予算案や計画案を提出したものを、市議会で話し合って決定していること ○租税の役割 【税金グループ】 ・市民の願いを実現する仕事を進めるために、税金が重要な働きをしていること	○　各グループ２分間程度の発表をする。その際、根拠となる資料も提示しながら発表できるようにする。 ○　教師は児童の発表で重要なところを押さえたり、補足説明をしたりする。必要に応じて、教科書や資料集を活用し、全体で確認をする。 ○　グループの発表が終わったら、黒板に資料を貼り、関係図にまとめていく。その際、児童同士で話し合いながら、まとめていけるようにする。	【市民】 市民の声、グリーンベルトの写真 【市の働き】 市役所の写真 【市議会】 議場の写真 【税金】 予算額、決算額、教科書P.10～P.11	３９
3　本時のまとめをし、学習問題の結論①を話し合う。	○学習問題の結論を話し合うこと 学習問題の結論① 市は、わたしたちの願いを取り入れながら必要な手順を決定し、計画的に実行している。	○　一人一人がノートに学習問題の結論を書き、その後、学級全体で話し合うようにする。 評地方公共団体の政治はわたしたちの生活の安定と向上を図るために、大きな働きをしていることについて考え、関係図に表現している。 【思】〈発言、ワークシート〉 →表現できている児童には、理由や根拠を考えられるようにする。 →表現につまずいている児童には、友達の発言や板書をもとにまとめることができるよう、個別に助言する。	関係図	5

（３）板書計画

学習問題　わたしたちの願いは、政治の働きによって、どのように実現されているのだろうか。

グリーンベルトの写真

本時の課題　桜田小学校通学路のグリーンベルトは、政治の働きによって、どのように実現されたのか、関係図にまとめよう。



学習問題の結論①
市は、わたしたちの願いを取り入れながら必要な手段を決定し、計画的に実行している。

わたしたちの願いを実現する政治・ワークシート①

名前（　　）

学習問題

★資料をもとに調べよう。

第１段階：とにかく調べる。教科書、資料集、インターネット、インタビュー等

第２段階：調べたものの中から、大事なもの、必要なもの、伝えるべきことは何か。

第３段階：わかりやすくまとめる。

・各グループ画用紙１～２枚。

・写真、図、グラフ等を見せながら発表する。

・文字は大切なところだけ書き、あとはロ頭で説明する。劇化してもよい。

・各グループ２～３分程度。全員が一言は発表する。

グループ

使った資料 ＨＰの名前等	わかったこと

わたしたちの願いを実現する政治・ワークシート②

名前（　　）

学習問題

★質問したいことを書こう。

・調べたけれどわからなかったこと、もっと詳しく知りたいことを聞く。

・学習問題の結論にせまるため、必要なことを聞く。

★ゲストティーチャー（　　さん）

	質問	答え
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

メモ

わたしたちの願いを実現する政治・ワークシート③

名前（　　）

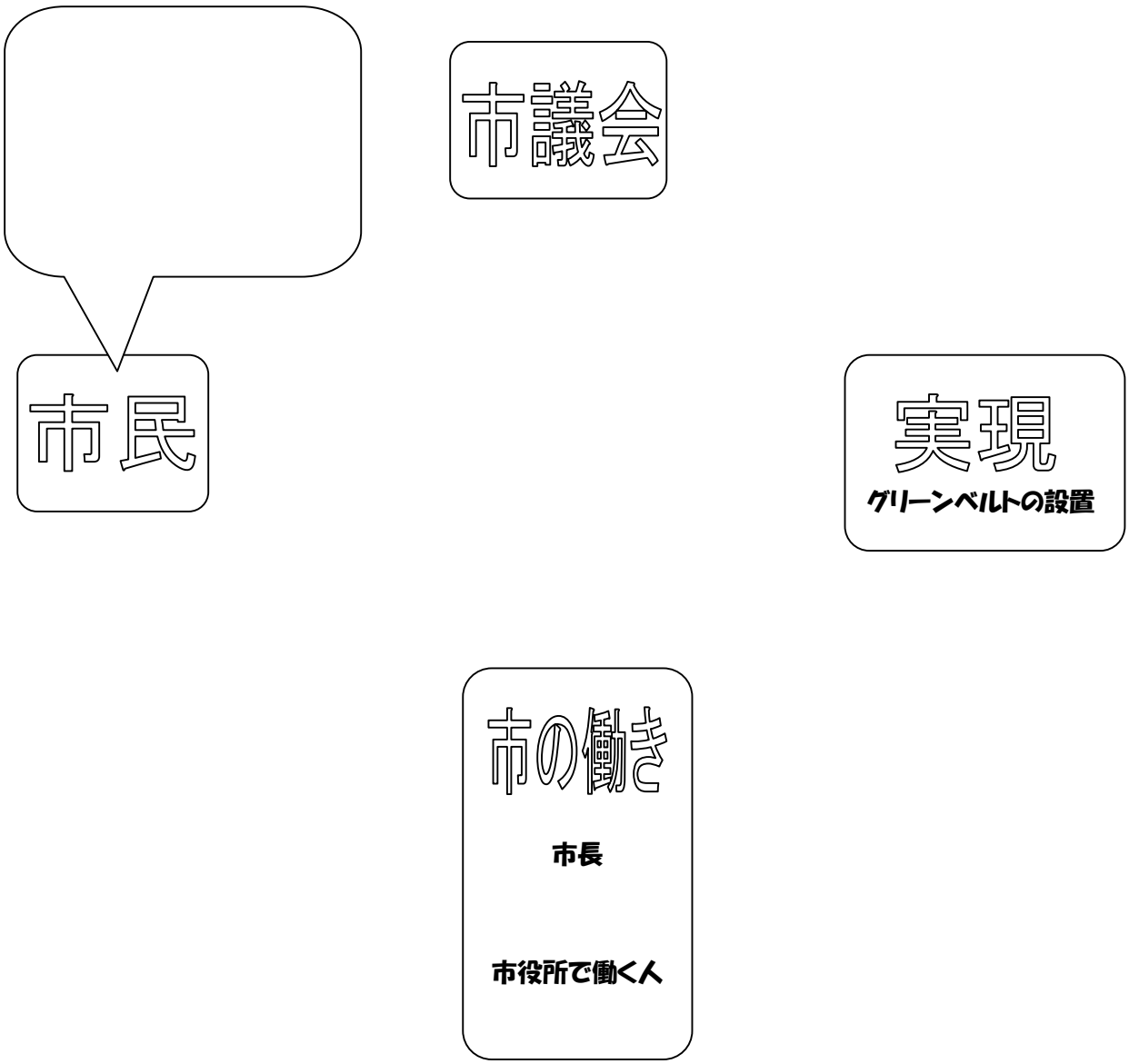
学習問題

めあて

★他のグループの発表のメモをとろう。

	グループ	わかったこと
1	市民の願い	
2	市の働き	
3	市議会の働き	
4	税金	

★調べたことをもとに、関係図にまとめよう。
※矢印や番号、言葉を使って、関係図にまとめてみましょう。



学習問題の結論